

令和7年度 いいね金沢環境活動賞受賞者（活動概要）

環境保全の部

（団体）

（50音順・敬称略）

No	氏名・名称	分 野	活動の概要
1	森本商店街振興会	3 R 推進 食品ロス削減	毎年、金沢星稜大学と連携して開催しているSDGs勉強会を通して、環境保全に関して学び探求を行っている。商店街の各店舗において使い捨て容器の削減や食品ロスの削減等をはじめとした様々な取り組みを行うとともに、もりえき広場活用協議会と共同で毎月開催している地域のイベントにて、地元野菜を販売するなど地産地消へも取り組んでいる。

（事業所）

1	アルビス笠舞店	食品ロス削減	2022年4月より、アルビス全店舗の中でいち早く常設フードドライブBOXを設置し、店舗等と直結したフードバンクモデル事業をNPO法人と協働で実施しており、集めた食品をひとり親家庭や生活困窮者等必要としている方へ届け、食品の有効活用に努めている。また、2024年1月から太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの導入を図っている。
2	星稜中学校	食品ロス削減 環境教育・学習	授業の一環として中学3年生がフードドライブに関する講義を受講したり、家庭科でエコクッキングを実施するなど、食品ロス削減への学びを深めている。また、中学3年生が主体となって生徒自らがポスターを作成し、校内で食品や日用品の寄付を呼びかけ、フードバンクへ寄贈しており、中学校全体に食品ロス削減に対する意識の輪を広げている。
3	株式会社 ダンロップタイヤ 北陸カンパニー	自然環境保全 地球温暖化防止	脱炭素化社会に向けて、社内のLED化やアイドリングストップ等に取り組み、CO2の排出量を削減している。また、桜の苗木の植栽や下草刈り、植樹、遊歩道の整備等の森づくり活動に取り組み、CO2吸収量の改善による地球温暖化防止及び地球環境保全に努め、持続可能な社会の実現を目指している。
4	株式会社 ぶどうの森	自然環境保全 地球温暖化防止 食品ロス削減	獣害や犯罪から地域を守り、豊かな里を未来につなげるため、約15年前から荒廃農地や耕作放棄地を再開墾し再生する活動を続けており、そこで得られる地域資源（農作物）を生かしたものづくりにより持続可能な形をめざしている。また、本社敷地内や一部の食品工場などにおいてCO2排出量実質ゼロの100%再生可能エネルギーの使用や、販売されなかった商品をフードバンク団体へ寄付するなどの活動も継続している。

地域美化の部

(個人)

(50音順・敬称略)

No	地区(校下)	氏名・名称	活動の概要
1	諸江	松田 直人	諸江通りの清掃や花の植栽、花壇の手入れ、景観を守るための見回り等の美化活動に取り組んでいる。長年にわたり、率先して美化活動を継続してきたことで、地域全体の環境保全に対する意識の向上に寄与している。

(団体)

1	戸板	示野町町会	不燃・資源の収集日には、毎回4人程度で朝8時30分からごみの分別や違反ごみの確認、ステーションの美化等に努め、ルールやマナーの向上を図っている。これらの活動により、ごみの分別に関する地域住民の意識が高まり、ごみ出しを通じて形成された新たなコミュニティが地域の活性化に寄与している。
2	額	額谷一丁目町会	ごみ収集日や資源回収日に朝6時30分から輪番制で立番を行い、違反ごみのチェックやごみステーションの清掃等を行っている。また、違反ごみが出された場合は、町内会で回覧するほか、ごみの出し方や分け方について不明な点を市の担当部署に確認し、その回答も回覧する等、町会全体のごみに関する意識の向上を図り再資源化の推進及び地域美化につなげている。